

# 初心

2008年新春号

平成20年1月発行  
年2回刊

題字/福田富一 書

<発行所>

福田富一  
暮しと政治研究所

〒321-0102  
宇都宮市江曾島町98番地  
TEL 028(645)5100  
http://www.tomikazu.com

## 「有名有力」なとちぎへ!

栃木県知事 福田富一



# 栃木に誇りと活力を

新年あけましておめでとう  
ございます。知事として締め  
くくりの年を迎えることとな  
りました。職責を最大限果た  
して参りたいと思っております  
本年も引き続き宜しくお願  
い致します。

新聞によりますと、本県の  
潜在成長力は、全国八位と新  
年早々報じられました。平成  
十七年の国勢調査では、人口  
の伸びは多い方から十一位、  
高齢化率は十九・四割で低い  
ほうから十位でした。但し、  
二〇三五年頃には、現在の二  
〇一万人から一七四万人に減  
少し、高齢化率は三三・六割  
に上昇すると予測されていま  
す。一方、県民所得六位、貯  
蓄高八位、農業生産額十位、  
工業製品出荷額十一位など全  
国高位にランクされています。  
しかし、民放番組では日本一  
影の薄い県とか、日経リサー  
チ「地域ブランド力調査」で  
も最下位でした。又、知事就  
任時、ワースト一位だった「い  
じめ」「交通事故死亡率」は、  
それぞれ二〇位、五位と多少  
改善されました。平均寿命で  
は、男性四〇位、女性四六位  
と、健康度も残念ながら最下  
位クラスであります。



新庁舎前での「くす玉割り」で  
完成を祝う知事と子どもたち

それは、「地震災害への対  
応」「医師不足等への対策」「地  
域医療の確保」、難病・がん  
等への支援強化を図る「看護  
する家族等への支援」、病氣  
予防・食育・運動の実践など  
の「県民の健康づくりの推進」  
であります。さらに、とちぎ  
を好きになる、実力を謙遜し  
ない、優れたものを売り込む、  
弱みを強みに、県民誰もが観  
光大使、地域ブランドの創出、  
格差の是正、人を呼び込む、  
元気なとちぎの底力発揮、な  
どの視点から、無名有力を有  
りたいたとちぎへと脱皮を図  
りたいと考えておりますの  
で、どうぞお力添えをお願い  
致します。

結びに、平成二〇年が皆様  
にとりまして輝かしい一年と  
なりますよう御祈念申し上  
げ、新年の挨拶と致します。

### ちよつと一息

## 鉄人のマーボー、直伝 「とちぎ食と農フェア」

「とちぎ食と農ふれあいフェア  
2007」が10月27日、28日  
の2日間、宇都宮市のマロニ  
エプラザと隣接する市体育館  
で開かれ、県内各自治体や生  
産者団体が特産品をPRした  
ほか、高校生が業者と共同開  
発したラーメンやソース、カ  
レーも登場。さらに特設ス  
テージでは、郷土芸能や創作  
ダンスが披露された。

28日は有名料理人・洋食の石  
鍋裕さん、和食の田村隆さん、  
中華の陳建さんが、リンゴやニ  
ラなど本県の農産物を使った  
料理の実演に登場。中華では  
知事もエプロンを着け特別出  
演。陳さんの手ほどきを受け  
ながらマーボー豆腐を作っ  
た。知事は「陳さんの料理は、  
気が付かないところの技術が  
すごい。おいしさの秘訣が分  
かった」と満足げに話した。  
その後3人の料理人と知事の  
トークショーも行われた。



陳さんの手ほどきを受けながら料理する知事

# 新県庁舎落成

## 栃木の新たな歴史スタート



新県庁舎落成式で記念碑を除幕する知事(左)と石坂県議会議長

県政の拠点となる新県庁舎 舎は高度な情報技術(I T)が完成し、12月14日、落成式が行われた。地上15階、高さ82mの本館は阪神大震災クラスの大地震にも耐えられ、庁舎は高度な情報技術(I T)が完成し、12月14日、落成式が行われた。地上15階、高さ82mの本館は阪神大震災クラスの大地震にも耐えられ、

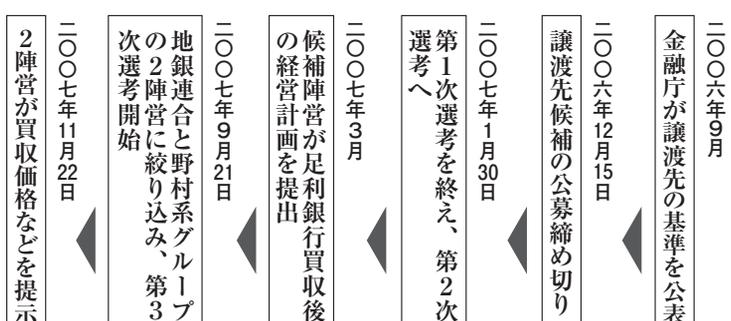
一県議会議長が県庁舎正面入り口で「栃木県庁」と刻まれた銘碑の除幕後、本館玄関前でテープカットを行い完成を祝った。その後1階県民ロビーで行われた式典で知事は、「県政の中核となる新庁舎が完成し、新たな歴史が始まった。これからの100年を見据え、利便性、機能性、環境への配慮を基本理念に整備した。全職員が活力と美しさに満ちた郷土栃木の実現のため、全力で県政運営に取り組みたい」とあいさつした。新庁舎建設は一九八五年7月、渡辺文雄知事時代に検討が開始され、二〇〇〇年3月には基本設計が出来上がったが、同年末、「全面見直し」を掲げた福田昭夫氏(現衆院議員)が当選。推進に待ったが掛かった。その後、昭夫知事は「旧本館の一部を移築し保存すること」を条件に、対立していた自民党県議団との政治決着を図ったが、〇4年秋の選挙で富一知事が誕生。富一知事は公約に基づき、18階建てだった本館を3階分削った経緯がある。

知事は、新聞社の新春インタビューの中で、最終段階を迎えている足利銀行の受け皿選定が越年したことについて、「国への要望などを何回もしてきた中で昨年内に決定し、新年度スタートが一番区切りがいいと思ってきたが、越年はやむを得ないかと思っている。ここまですれば慌てる必要はない。しかし1月中にはおそらく決定するのではないか。決定になり次第、事業計画書や資本政策について国に情報開示を求め、それに基づきながら県も詳細な検討を加え、速やかに受け皿との協議



要望書に目を通す渡辺金融担当相と知事

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞の記事を抜粋させていただきました。



## 福田県政に高い評価

### 知事就任4年目を迎えて!

知事は12月9日で就任4年目を迎えた。下野新聞社が県内31市町長にアンケートを実施した結果によると、3年間の県政運営や市町長との関係、政治姿勢に対して高い評価を付けた。知事の残り任期はちょうど1年。再選出馬について、知事本人は「まだ何も考えていない」と明確な意思表示はしていないが、再選出馬がほ

ほ確実視される中、12月5日、県議有志による超党派の「福田富一知事を支援する議員の会」(会長・石坂真一県議会議長)が発足。12月定例会の最終日には知事に再選出馬を要請した。県市長会(会長・吉谷宗夫足利市長)も、12月1日、知事を招いた臨時会で「再選に向け全力で支援していく」ことを確認した。



医師役に銀幕デビューを果たした知事。共演をした平山あやさんは「すてきなお医者さんでした」

知事は8月25日、那須地区で撮影が進められている映画「那須少年記」に出演した。映画は、昭和30年代の自然豊かな那須地方で、中学2年生のオサムが友達や先生との出会いの中で成長していくストーリー。黒磯高出身の作家・知事「銀幕デビュー」が原作で、旧黒磯市出身の女優・平山あやさんがヒロインを演じるほか、地元中学生もエキストラで出演する。このため、「オール栃木」で映画を全国にPRしようと、知事にも出演依頼が来た。

知事は、けがをした生徒を見舞うヒロインの大月先生(平山さん)に病状を伝えて安心させる医師役で出演。「心配いりませんよ、軽い脳しんとうです。意識が戻れば大丈夫です」と、緊張気味に平山さんに語りかけ、テイク2でOKが出た。知事は「せりふの間にいろいろが詰まっていた。映画は今年7月から上映予定で、県内で先行上映される。

## 地元出資を“橋渡し”

### 足利銀行受け皿選定

### 譲渡作業の経過

二〇〇三年11月 足利銀行破綻、一時国有化

二〇〇六年9月 金融庁が譲渡先の基準を公表

二〇〇六年12月15日 譲渡先候補の公募締め切り

二〇〇七年1月30日 第1次選考を終え、第2次選考へ

二〇〇七年3月 候補陣営が足利銀行買収後の経営計画を提出

二〇〇七年9月21日 地銀連合と野村系グループの2陣営に絞り込み、第3次選考開始

二〇〇七年11月22日 2陣営が買取価格などを提示

# 「とちぎ未来クラブ」本格始動

知事は1月4日の新春記者会見で、子育て支援策を今年の重点テーマに挙げ「とちぎ未来クラブ」が取り組んでいる結婚と子育て支援事業をさらに充実させる考えを明らかにした。

## 「とちぎ出会いサポート事業」

「結婚したいけれど出会いの機会がない」「いい出会いがあれば結婚したい」と願う人に素敵な『出会いの場』を提供しようと、県などが発足させた「出会いの場創出事業」は、1回の定員が男女各20人。既に9月から県内各地で4回開いたが、計960人も応募者があり、33組のカップルが成立した。人気の理由は、若者たち

は仕事で忙しく出会いの機会が少ないことや、主催者への高い信頼度によると思われる。知事は「男性の応募は定員の10倍を超えている。理想の相手に巡り合う前に抽選で外れてしまうという苦情がきている。もう少しチャンスが多くなるように取り組んでいきたい」と話した。

## 子育て支援に割引サービス

「とちぎ笑顔つぎぎカード」

1月1日から始まった「子育て

家族応援事業」は、クラブが発行した「とちぎ笑顔つぎぎカード」を協賛店舗・施設に提示すると、各店が設定した優待サービスを利用できる仕組み。18歳未満の子どもや妊婦のいる家庭約22万世帯に12月中旬に役場や学校などを通じカードを配布。買い物やレストランでの割引サービス、学習塾代の割引、住宅ローンの金利優遇など様々なサービスを受けられる。協賛する店舗・施設は約1500店、店舗の入り口やレジには協賛店である案内が設けられている。知事は「協賛店舗をさらに拡大したい。また同様のサービスを行っている隣接県と連携して利用できる仕組みにしていきたい」と語った。

# 難病の公費負担見直しを

## 全国知事会議

福田政権が発足して初の知事は外添厚労相に難病医療費の公費負担の割合を見直すよう求めた。知事は「本来は都道府県が「地方自治体の税源偏」と国の負担は半々とされ在の是正に取り組み、地度しているが、国はその4割方分権改革で国の関与を程度しか負担していない。見直す」などと述べた。このままでは患者数の増加に対応できない」と訴えた。合わせて現在45疾患に定められた難病指定の対象範囲の拡大と在宅介護者の負担軽減策への取り組みも強化するよう要望した。

# 道路整備の重要性強調

## とちぎ元気フォーラム in 茂木

知事が県政の課題など合う「とちぎ元気フォーラム」が10月27日、茂木町民センター



県政の課題について説明する知事

町民センターで開かれ、約百四十人が参加した。政府・与党内に道路特定財源の一般財源化に向けた所要法案を国会に提出する動きがあること加した。政府・与党内に道路特定財源の一般財源化に向けた所要法案を国会に提出する動きがあること加した。政府・与党内に道路特定財源の一般財源化に向けた所要法案を国会に提出する動きがあること加した。



エフエム栃木のスタジオでの生放送に出演する知事(11月12日)

# 東奔西走の目々

- ◇ 8月9日 宇都宮・小山地区ブ
- ◇ 8月24日 茂木町で第13回棚田サミット出席。
- ◇ 8月30日 地方6団体知事会を代表して自民党総務部会出席／権限・税源移譲強く要望。
- ◇ 9月10日 日光の道路崩落現場視察／「一刻も早い復旧を」
- ◇ 10月16日 日光市で県高P連創立50周年記念式典出席／「学校教育の充実に取り組んで」と挨拶。
- ◇ 10月19日 足銀受け皿問題／渡辺喜美金融相を訪ね「県内資本の参入配慮を」要望。
- ◇ 10月23日 東京で関東知事会／財源拡充、国に要望へ
- ◇ 10月26日 東京で北関東道期成同盟会総会／「早期全線開通を」
- ◇ 10月31日 足銀受け皿問題／福田首相や額賀財務相に「地元資本への配慮を」要望。
- ◇ 11月9日 「とちぎ特使」と懇談会／「よそ者意識」一掃を。
- ◇ 11月17日 足利短期大学で「とちぎ元気フォーラム」／「キャン
- ◇ 11月23日 東京で「利根川サミット」／水源地域の保全を訴える。
- ◇ 11月29日 ドイツ大使館で「栃木におけるドイツ展」／真岡木綿の作務衣で出席した知事は本県とドイツの深い関係を紹介。
- ◇ 12月1日 大平市でとちぎ元気フォーラム／栃木地区の合併、新法期限が目標
- ◇ 12月4日 京都の立命館大学で「第3回知事リレー講座」／「無名県有名にしたい」と講演。
- ◇ 12月12日 宇都宮の繁華街で年末特別パトロール
- ◇ 12月23日 東京／島岡達三さんの本葬で弔辞を読む

# ハンセン病療養所訪問 本県出身入所者と懇談

知事は11月30日、本県の歴代知事として初めて東京都東村山市の国立ハンセン病療養所「多磨全生園」を訪れ、本県出身の入所者らと対面した。最初に四千六百三十五人が眠る園内の納骨堂で献花し手を合わせた知事は、続いて県人会会長の案内でハンセン病資料館を見学。国が行った強制隔離の歴史や入所者の暮らしを伝える資料に見入った。家族との別れ、差別、残りの人生の生き方。語り尽くせぬ思いに触れた知事は「もっと早く来たかった。このようなことがあったことを風化させないよう、これからも県としての責任を果たしていきます」と誓った。

下界の暑さを忘れて

### 尾瀬沼ハイキング

## 後援会のページ

8月5日(日)早朝4時半に大型バス3台に分乗、130名が参加して2年ぶりに尾瀬沼に向った。車窓の風景を楽しみながら、高速道路を西那須野インターより塩原、尾頭峠、三依を経て福島県檜枝岐村へ。御池駐車場でシャトルバスに乗り換えて沼山峠休憩所に8時半に到着した。真夏のハイキングは初めての経験で、さぞかし暑いのではと心配していたが、宇都宮より気温が10度程低く、バスを降りた時にはひんやりと肌寒く感じられた。

沼山峠休憩所から尾瀬沼までは木道が良く整備されており、比較的簡単に大江湿原に入ることができた。ニッコウキスゲの盛りはすでに過ぎたものの、ワタスゲ・トリアシショウマ・ヤマアザミなどが点在する湿原をハイキング。尾瀬沼越しに眺める燧ヶ岳には格別の感があった。時には通り雨に遭いながらも、広大な景観に癒されつつ、澄み切った夏の空のもとを約4時間半、大自然の醍醐味を満喫した1日となった。尾瀬はどの季節に來ても、何度來ても、心地よく癒される空間である。



沼尻休憩所でお弁当を食べる知事

### 文化講演会

9月6日、台風9号が開催時刻に関東地方直撃、と伝えられながら、幸いにも台風は到着を遅らせ、5000人余り



講演する佐々木愛さん

の方々が出席された。

佐々木愛さんは、冒頭で福田知事著「先憂後楽」への共感を語り、文中にある藤原正彦教授の「国家の品格」こそは自分にとっても、大命題であること、幼い時から常に書物を手離してはならないこと、優越感と劣等感を退けるべきこと等を父が優しい言葉で教えたこと話し、90歳以上を女優そのもので生きた母は、女も手に職を持って生きよ、と語り、その母から芸の厳しさを眼のあたり学んだ、と魅力ある口調で講演した。

知事当選の日を記念して

### 『知事と語る会』

11月28日、知事当選の日を記念して、第3回『知事と語る会』を開催。知事が1年間の県政のあゆみ、日々の思いやこれからの課題への取り組み等を語り、その後質疑応答が行われた。参加者は200名。

知事は栃木県民性の長所短所について語り、おらが県を卑下することは決して美徳とはならないこと、ふるさとを誇りとする柔軟な心を培って欲しいこと、それが県土をより発展させる道だと強調した。また、農業県・工業県として優位に立つ現況にも触れ、日本一安全な県を売りに、今後



つきたての餅を配る知事



さらに工場誘致を計ること、受け入れのためにも教育や医療環境等の充実化を目指すなどの、次年度に向けた重点施策を語った。

参加者からは、新聞では伝わりにくい事柄がよく理解出来た、県民として考えるべき課題を得た、などの感想が寄せられた。

25年の感謝を込めて

### 『もちつき大会』

12月2日(日)、恒例の『もちつき大会』が今宮公園で開催された。後援会や地域の皆様との交流を目的に始められた『もちつき大会』も、今年25回目を迎えた。今日までご支援・ご協力下さった多くの皆様に改めて心から感謝とお礼を申し上げます。当日は、つきたての餅、け

### 『福田家の茶の間』

夫は毎朝山芋のすりおろしをお茶碗一杯食べている。知人に「体に良いから」と勧められたのが最初だが、もう9年になる。皆さんよくご存知で、季節になると「いいのが採れたので」と届けて下さる。そんな皆さんの



「いいのが採れたので」と届けて下さる。そんな皆さんの気持ちがあり難く、少しも無駄にしないようにと私は毎朝せっせとすりおろして、「今日も1日頑張つて！」という気持ちで込めて食卓に用意する。ところで、昨年7月に黒パグを飼った。(写真)

いるからと娘が命名した。主治医の先生に「悪戯しても叱らないで褒めて育てなさい」とアドバイスを受け、何か1つできると、「いい子ねえ」と褒めて抱きしめてご褒美をあげる。するともつと褒めて欲しくてもいい子になる。そんな『もも』を見ていて、ふつと、私は3人の子ども達をこんな風に、褒めて、抱きしめてあげたのだろうか、と自問自答する。何でも分っているような顔をして私達夫婦を見る『もも』に、どんなに癒されていることか。今や『もも』は我が家の福の神である。

### 編集後記

皆様恙無く新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年も宜しくお願ひ致します。

知事就任後再刊した『初心』も第6号になりました。日々雑用に追われ忙しく過ごしている、新聞を読み落とすことも多々ありますが、『初心』の発行を機に半年間のスナップ記事をまとめて読み返して、改めて知事の県政への取組みや思いを知るようになりまし。半年分の出来事を分り易くまとめてみました。ご読され、ご理解いただければ幸いです。

### 福田富一後援会事務所

宇都宮市江曾島町98番地  
電話 028(645)5100  
FAX 028(645)1124

### 平成20年度スケジュール予定

- ・ハイキング  
日時 5月頃予定
- ・講演会  
日時 未定
- ・知事と語る会  
日時 未定
- ・もちつき大会  
日時 12月7日(日)  
午前11時から
- ・ゆりの会新年会(女性のみ)  
日時 09年2月15日(日)  
午前11時予定

※詳細につきましては、後援会事務所にお問い合わせ下さい。

### 事務所からのお知らせ

今年2種類のご希望を、カレンダーを作成し、ご希望の方へご連絡させていただきます。

